

佐野市景況レポート

平成25年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成25年4～6月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、191社(回答率65.8%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

大企業製造業の景況感はプラス転換なるが、地元企業の景況感は依然厳しい状況

6月の企業短期経済観測調査(日銀短観)は、企業の景況感を示す業況判断指数(DI、「良い」と答えた割合から「悪い」の割合を差し引いた値)が大企業製造業でプラス4と、1年9月ぶりにプラスに浮上した。また、3ヶ月後(9月)の見通しは、プラス10とさらに回復するとみている。

「アベノミックス」(安倍政権の経済政策)と「異次元緩和」(これまでと次元の異なる日銀の金融緩和)による円安・株高が進行し、輸出関連業種、内需関連業種の景況感が改善したようだ。

業況判断DIを規模別にみると、大企業製造業+4(3月比+12)、大企業非製造業+12(3月比+6)と景況感が良好である、反面、中小企業製造業▲14(3月比+5)、中小企業非製造業▲4(3月比+4)と景況感は悪く、改善幅も大企業に比べ低い状況である。

佐野市の景況レポート(4-6月期)によると、業況全業種DI指数▲14.1(3月比▲0.1)と景況感は悪く、改善も進んでいない。

全業種DI指数(4-6月期)の損益項目をみると、売上高▲15.7(3月比+8.0)、仕入価格+26.9(3月比+5.7)、販売価格▲7.6(3月比+4.2)、利益▲27.2(3月比▲0.6)と、売上高は改善しているが、円安等による仕入価格の上昇に比べ、販売価格への転嫁が遅れているため損益の改善が進んでいない状況と言える。

今後3か月間(7-9月期)の全業種DI指数をみると、業況、売上高の改善を予測。業況▲11.1(前期比+0.9)、売上▲6.6(前期比+8.9)、仕入価格28.4(前期比▲2.4)、販売価格▲6.1(前期比+2.5)と、業況、売上高の改善を予想、仕入価格が落ち着き、販売価格への転嫁により利益改善が予測される。

「異次元緩和」に対し、「一世一代の賭け」と言った経済学者がいます。別な見方をすれば、日本経済は「一世一代の賭け」をしなければ再生できない状態かもしれません。賭けをしたからには、必ず勝つ(日本経済再生)を期待したいものです。

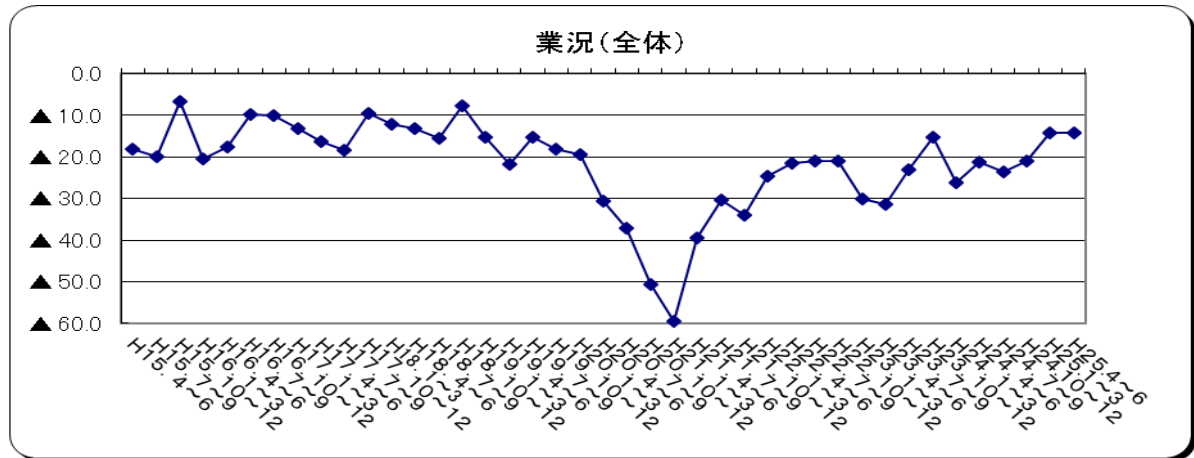
調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について

全業種 DI 指数▲14.1、前期比 0.1 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①設備業 5.9 ポイント、②建設業及び化学・プラスチック製造業・飲食店 0.0 ポイント、⑤卸売業▲9.1 ポイント

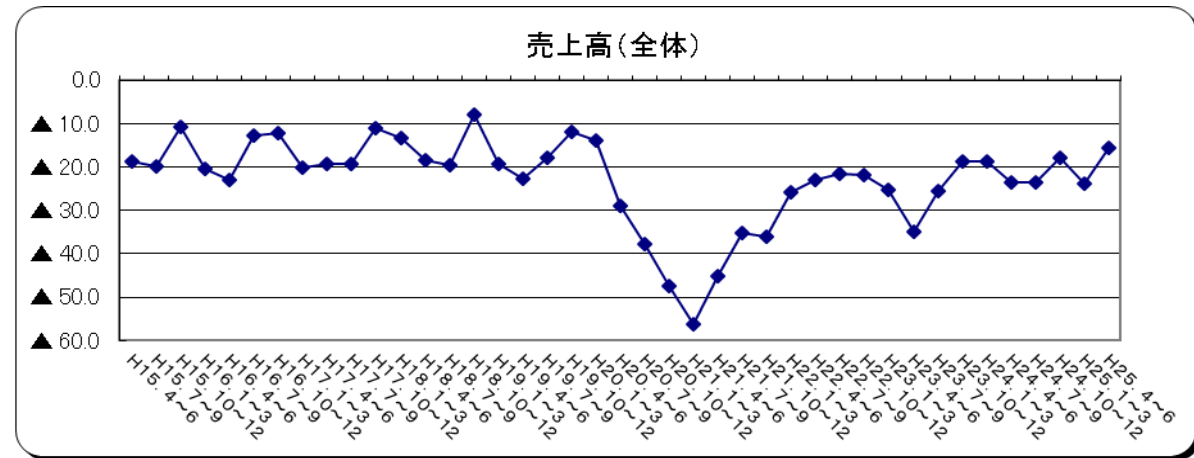


☆ 売上高について

全業種 DI 指数▲15.7、前期比 8.0 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 9.7 ポイント、②設備業 5.9 ポイント、③飲食店 0.0 ポイント、④機械・金属製造業▲9.3 ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲12.5 ポイント



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 26.9、前期比 5.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業及び飲食店 42.9 ポイント、③建設業 39.1 ポイント、④化学・プラスチック製造業 37.9 ポイント、⑤サービス業 33.3 ポイント

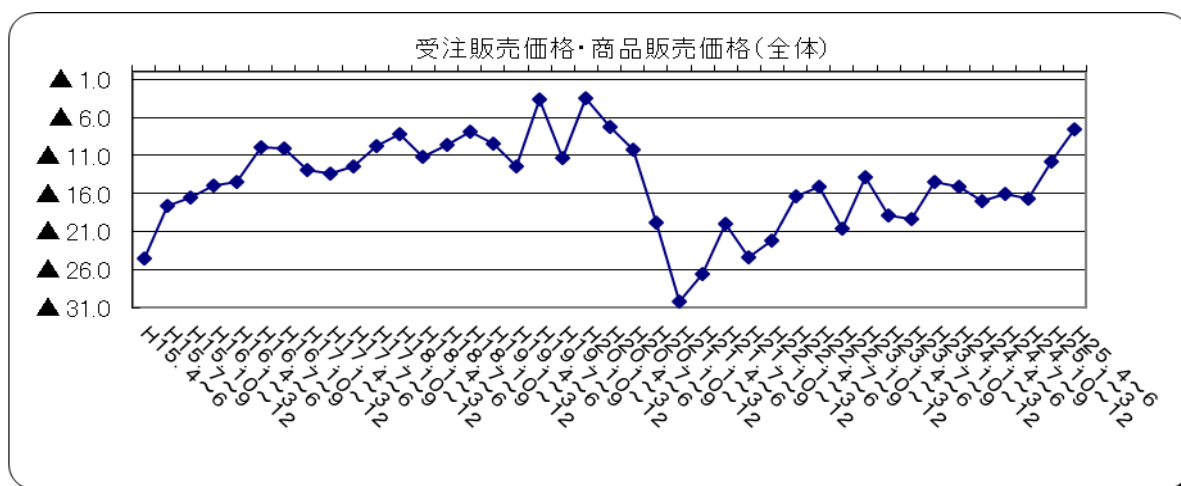


☆ 受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 ▲7.6、前期比 4.2 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ① その他の製造業 25.0 ポイント、② 建設業及び小売業 (飲・食料品)・その他の小売業 (大型店含む)・飲食店 0.0 ポイント

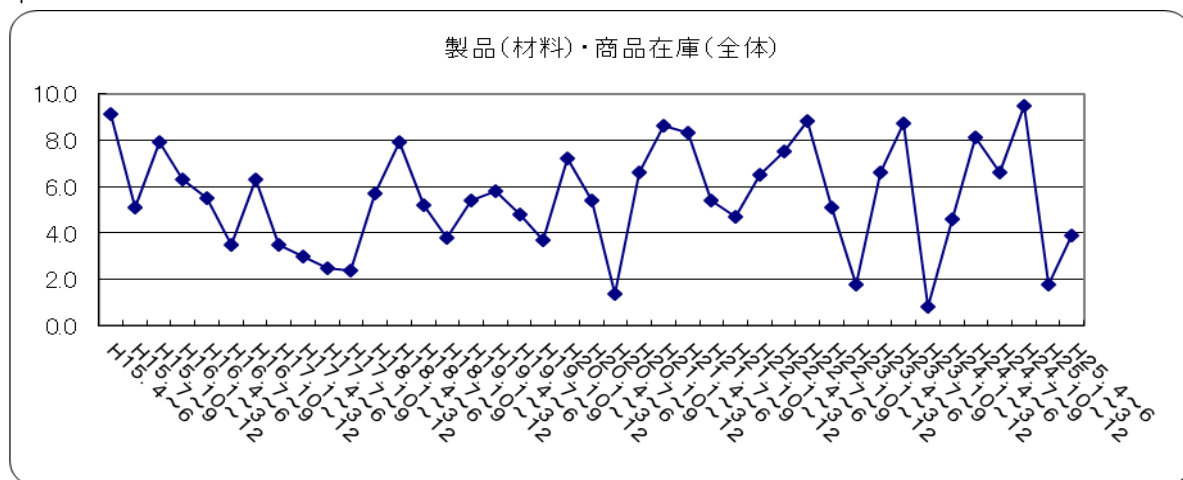


☆ 製品(材料)在庫・商品在庫について

全業種 DI 指数 3.9、前期比 2.1 ポイント増加

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ① その他の製造業 36.0 ポイント、② その他の小売業 (大型店含む) 14.8 ポイント、③ 繊維品製造業 11.1 ポイント、④ 機械・金属製造業 6.1 ポイント、⑤ 建設業 5.9 ポイント

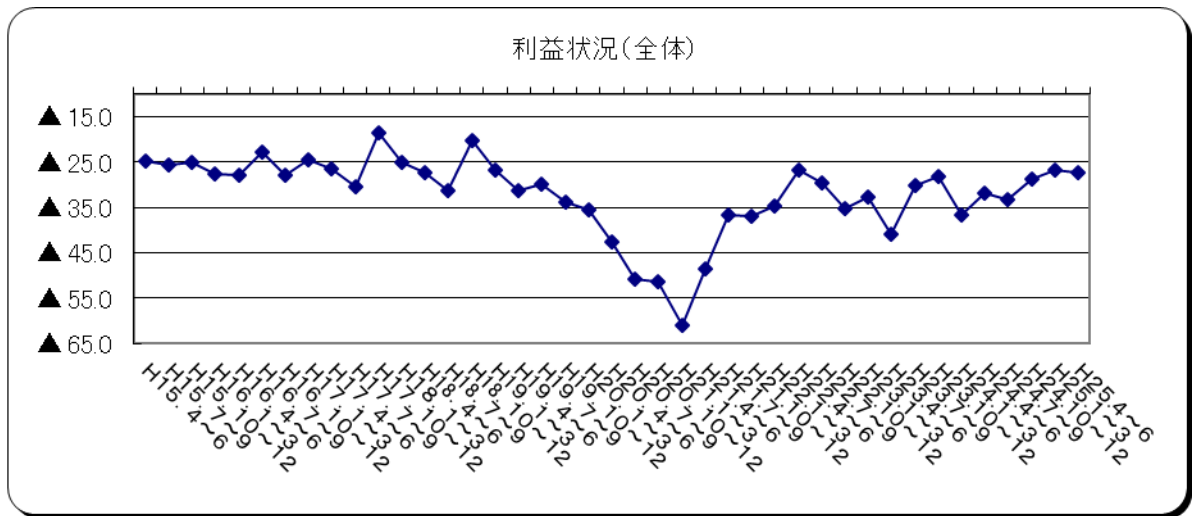


☆ 利益状況について

全業種 DI 指数▲27.2、前期比 0.6 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①設備業及びその他の製造業▲12.0 ポイント、③卸売業▲18.8 ポイント、④小売業（飲・食料品）▲24.0 ポイント、⑤機械・金属製造業▲25.0 ポイント

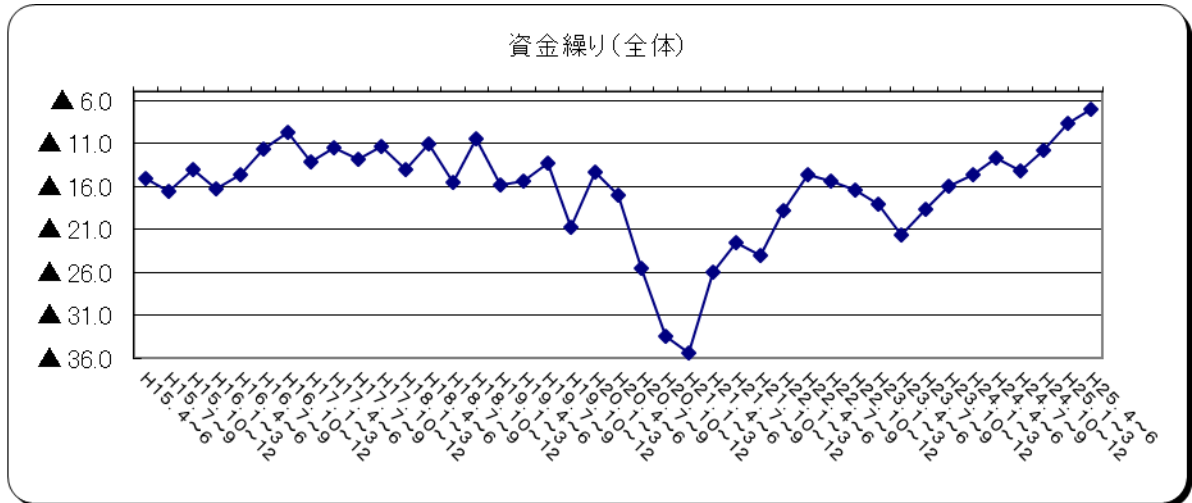


☆ 資金繰りについて

全業種 DI 指数▲7.0、前期 1.7 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①卸売業 8.6 ポイント、②サービス業 7.7 ポイント、③設備業▲5.7 ポイント、⑤食品製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント

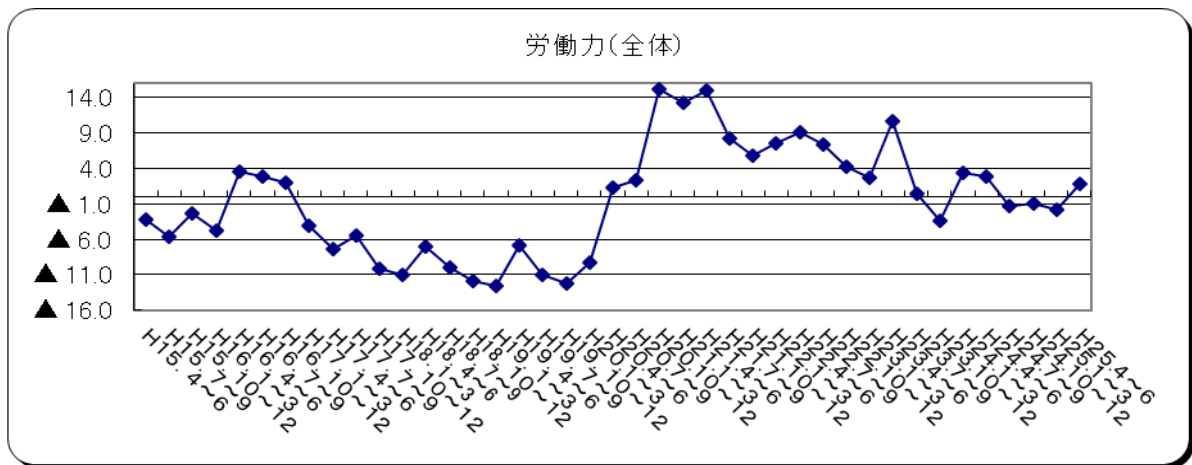


☆ 労働力について

全業種 DI 指数 1.8、前期比 3.6 ポイント増加

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 23.1 ポイント、②卸売業 17.6 ポイント、③化学・プラスチック製造業 11.8 ポイント、④建設業 5.9 ポイント、⑤設備業及び繊維品製造業 5.5 ポイント

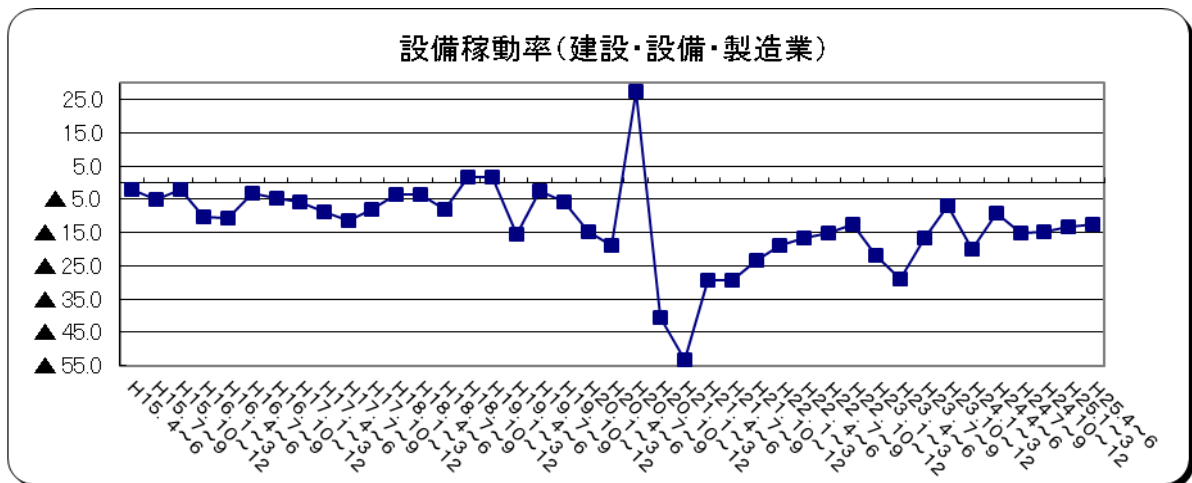


☆ 設備稼働率について (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数 ▲12.5、前期比 0.7 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 ▲9.1 ポイント、②設備業及び繊維品製造業・その他の製造業 ▲11.1 ポイント、⑤食品製造業 ▲15.8 ポイント

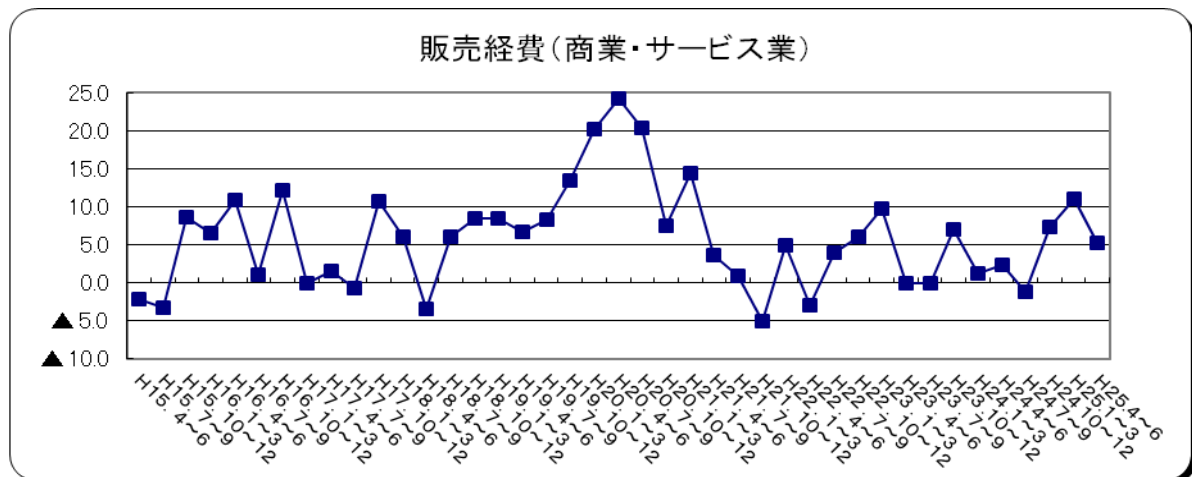


☆ 販売経費について (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 5.2、前期比 5.9 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①小売業(飲・食料品) 11.5 ポイント、②その他の小売業(大型店含む) 10.0 ポイント、③サービス業 7.7 ポイント、④飲食店 0.0 ポイント、⑤卸売業 ▲9.1 ポイント

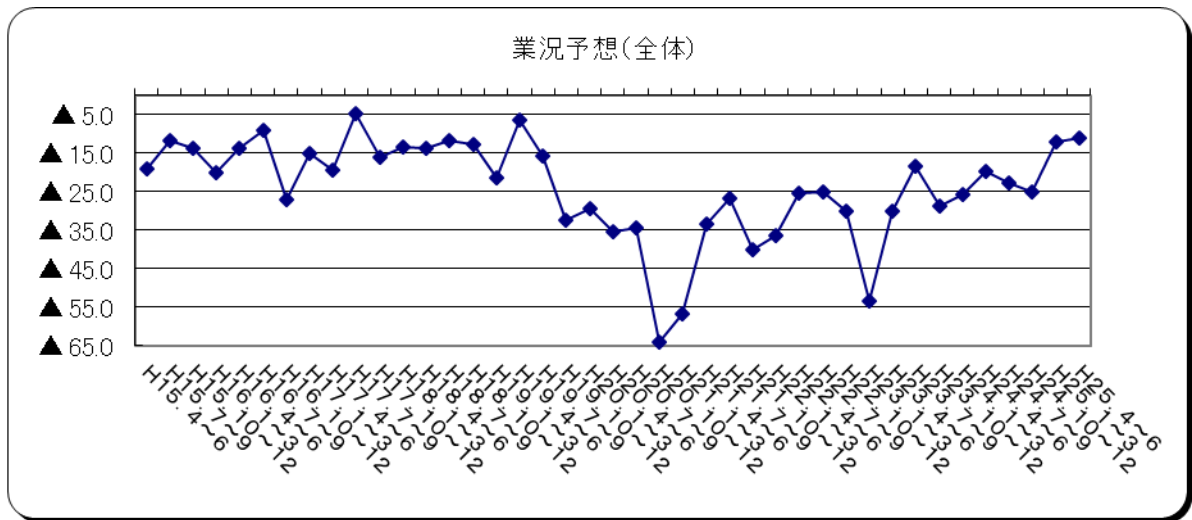


☆ 今後3ヶ月間（平成25年7～9月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲11.1、前期比0.9ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 25.0ポイント、②その他の小売業（大型店含む）0.0ポイント、③機械・金属製造業▲3.1ポイント、④卸売業▲9.1ポイント、⑤飲食店▲10.7ポイント

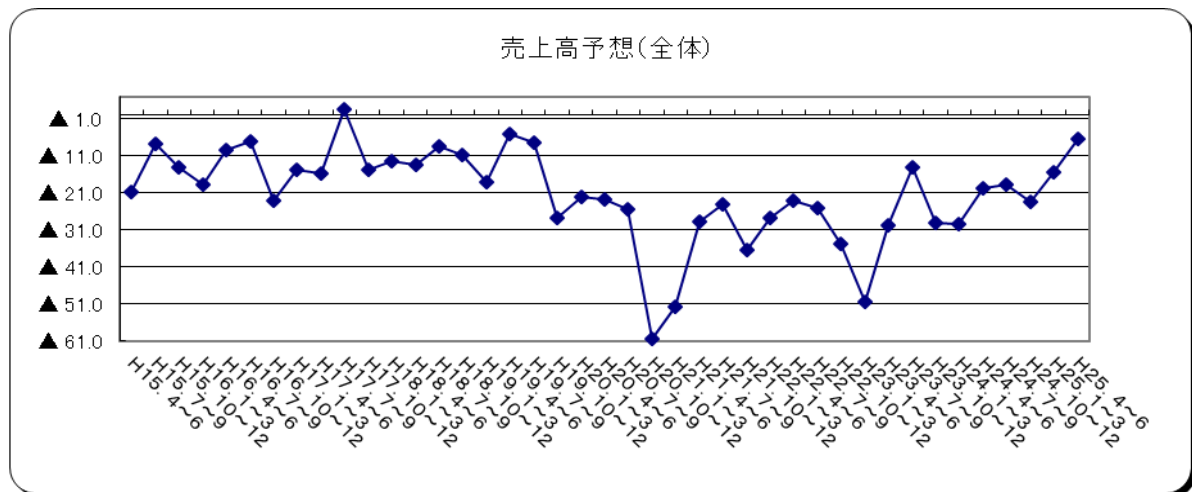


☆ 今後3ヶ月間（平成25年7～9月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲6.6、前期比8.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 25.0ポイント、②飲食店 20.0ポイント、③卸売業 9.7ポイント、④その他の小売業（大型店含む）0.0ポイント、⑤食品製造業▲5.5ポイント

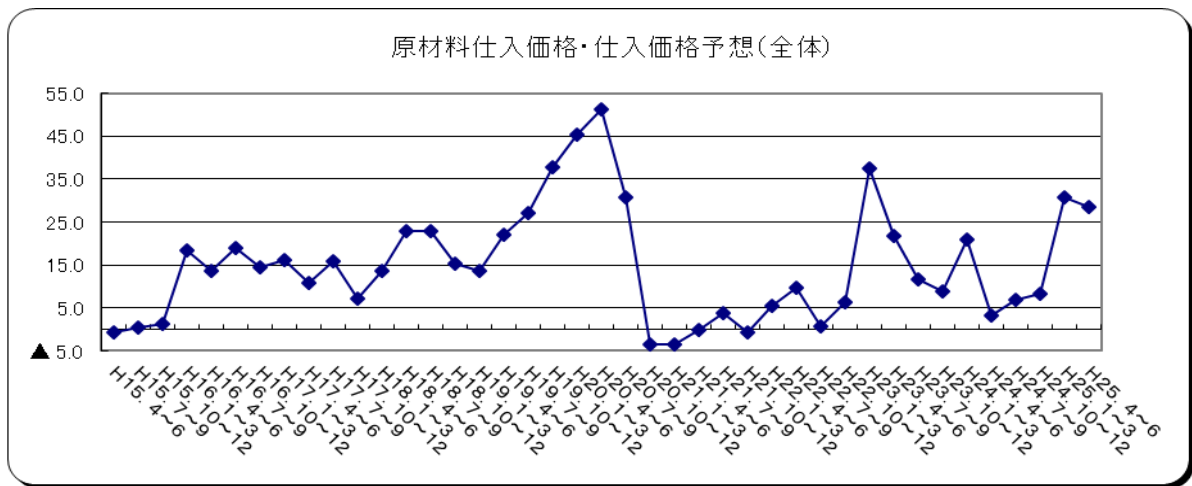


☆ 今後3ヶ月間（平成25年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数 28.4、前期比 2.4ポイント減少

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）50.0ポイント、②飲食店 42.9ポイント、③卸売業 37.5ポイント、④化学・プラスチック製造業 32.7ポイント、⑤建設業 31.9ポイント

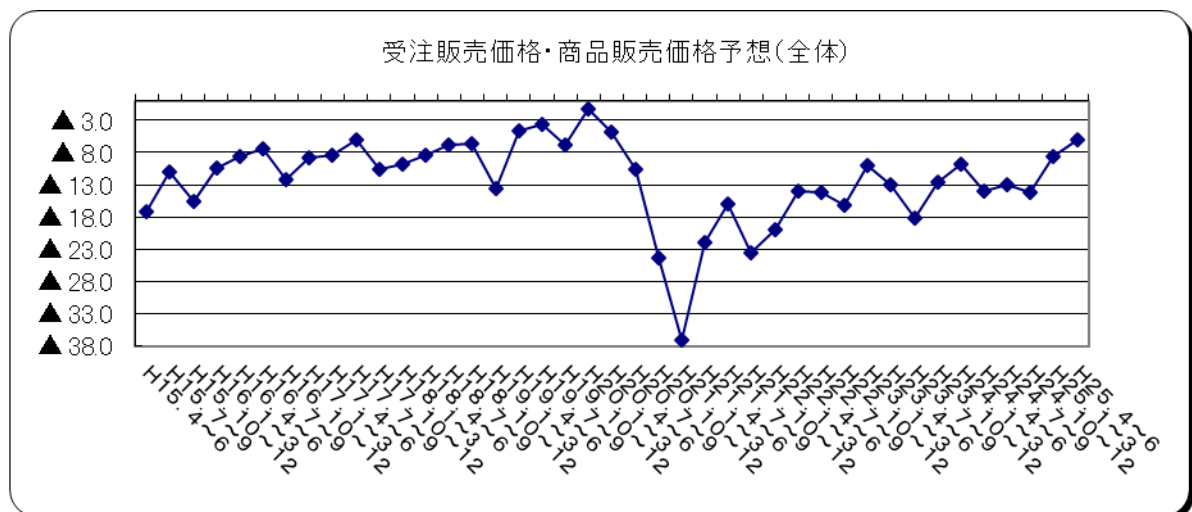


☆ 今後3ヶ月間(平成25年7~9月期)の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲6.1、前期比2.5ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①サービス業 7.7ポイント、②飲食店及びその他の製造業・食品製造業 0.0ポイント、
- ⑤小売業(飲・食料品) ▲5.5ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・建設業、土木業者、昨年以上に本年は悪くなる見通し。
- ・市役所の規制緩和がなによりの景気浮揚策となる。近隣市と比較しても民需を圧迫する規制策こそ撤廃しなければ、民間投資が振わない。大胆な規制改革を望む。

設備工事業

- ・記入無し

繊維品製造業

- ・繊維製造業に関しては、アベノミクスの影響が出るのが良くて2～3年先と考えています！！なので当面はこのままのようですね。
- ・弊社は特に変わりないです。
- ・原糸（7～9月→年内まで）約10%～15%位い、高くなりそうです。
- ・円安の状況下にあるが、今の処、国内生産の空洞化に歯止めがかからず、厳しい状況が進行中である。

食品製造業

- ・かなり厳しい状況が続いております。原材料の仕入れが上がり販売価格に上乗せしていますが、この暑い天候ですから苦しい状況です。この先どうなることやら…。
- ・世間はアベノミクスなど言っている様だが、株の乱高下など地方の会社にはまだまだ何の気配も考えられない。
- ・原材料（粉）の値上りしましたが、一部しか値上りできません。これからが心配…。
- ・アベノミクスによる株価上昇も一瞬のことで、乱高下と共に景気に対する期待不安も入り乱れの状況。今後3ヵ月は一応業況は良いに○をしたが（例年夏は上がるので）実際には不透明感が強い。
- ・輸入の原料の原価が値上げになっています。

機械・金属製品製造業

- ・アベノミクスは大手企業だけで、中小企業にはまだまだ浸透していない。
- ・仕入値が上って来ているが、全体的には需要が弱く、売値への転嫁は殆んど進展していない。このまゝでは流通の採算が圧迫され一層厳しさが増す。太陽光発電関連の案件は現状多忙。
- ・相変わらず受注単価の引下げ要請続く。
- ・景気回復？のムードはあるが、実態は変化なし。
- ・大企業は円安等により利益増となっているが、中小は依然厳しい状況に変化なし。
- ・アベノミクスで円安になり輸入されている物が上昇しておりその上昇分をユーザーに転嫁できる状況にない。元の見通しは厳しい。
- ・一部海外向けの受注が増えてきている。
- ・震災復興による需要で引き続き生産量は高位にあります。
- ・依然不透明ながら引き合いが増えてきた感があります。
- ・仕入材料（一部海外材使用）が円安傾向の影響で値上げ状況（輸入材料）となり、収支上に影響を及ぼしている。

化学・プラスチック製品製造業

- ・同業者間で悪い中で好調です。
- ・原料仕入価格は高騰していますが、販売価格への反映に苦慮している状況です。
- ・円安により原料費上昇傾向。
- ・5月末にて会社解散予定。
- ・得意先が生産地を海外。
- ・アベノミクスの効果は現状特に感じられず。タイムラグがあるにせよ今後出てくると良いのですが…。
- ・円安によるプラスチック原料の高騰ですが、お客様には今後変動が予想されてるのでお願いがむずかしい。

その他の製造業

- ・毎年の事だが、夏場は試作の時期で農繁期でもあり、製品需要は少ないが、前年同月比では良い。今年の新商品も少しずつ受注が出ている。
- ・実体経済は10月以降に動き出すように思います。それまでは落ち込む可能性あり。

卸売業

- ・為替の影響と国際穀物相場高値及び天候不順により非常に原材料不安定です。
- ・円安が仕入値に反映されつつある一方で売値に転嫁できていません。これから少しずつ対応といった感じです。
- ・販売価格が下げ止まっており、利益改善出来ない状況が続いている。

小売業（飲・食料品）

- ・仕入価格は少しずつ上昇しているが、売上は進まない。例年ある連休中の特需も今年はずかでした。
- ・アベノミクスで実績を伴って、業績の向上がこれから先みられるかどうか見守りたい。
- ・大企業は景気良さそうだが、小企業が良くなるには何年かかるか？
- ・売上は順調に推移しているが、安い商品の動きがよくなっている。高額商品がもっと売れるようになると、景気がよくなった感がでてくる。
- ・益々悪いと思います。円安で原材料高になる傾向にあると思います。
- ・円安のせいで原材料価格が高騰している。非常に心配。

その他の小売業（大型店含む）

- ・お客様のサイフは固くなっている。アベノミクスとは言っているが、われわれには増々DM、催事をしても半分位の集客しかとれない。

飲食店

- ・輸入食材の値上げが依然として続いています。
- ・売上げはやや増加しているが、これが継続していけるか政治家は現況をしっかり支えて行ってほしい。
- ・「土用のうし」が恐いです。うなぎの値段がどんどん上がっているので…。売るほど赤字かも…。

サービス業

- ・記入無し

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成25年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ 佐野商工会議所経営支援課 Tel（代表）0283-22-5511

